



1 年生で行った「課題研究入門講座①②」に関する授業の報告です。

◇ 課題研究入門講座①（5月9日）の様子

中京大学総合政策学部から、坂田隆文教授をお迎えして、「第1回課題研究入門講座」を行いました。先生からは、「**問題がないことが、最大の問題だ**」というメッセージを受け、各自自分の課題・問題がどこにあって、その欠点や課題にどう対応していくのかを考える必要があると学びました。一人一人の課題は、すべて異なり、さらにその課題は誰も教えてくれない。自分で見つけるしかないということを、先生との対話を通して考えることができました。

また、本年度の SGH テーマ「中濃地区にインバウンドを！」を追求するために、具体的にこの1年をかけて、どのような活動をおこなっていくことになるのか、大まかな流れの説明を受けました。



◇ 課題研究入門講座②（5月23日）の様子

再び、中京大学の坂田教授を講師にお迎えして、グループディスカッションを進めるうえで、私たちが大切にすべきことについて、ワークショップを通して学びました。



生徒の感想

- *自分たちが 20 分間意見を出しあって最終的に出した結論が、結局回りと一緒に、**いかに自分たちの視野が狭いのかということ**を思い知らされました。これからグループで考えを出していくので、その話し合いの中では、今回の学びを生かして、より広い視野で話し合えるようにしていきたいです。
- *これからの SGH では、「アイデアの面白さ・アイデアに対する納得度、根拠の有無、プレゼンの巧さ」が、求められると分かりました。「『**普通**』は面白くない！」という言葉も、忘れずに取り組みたいです。